

丹後町

中学生以上全員
まちづくりアンケート調査

結果報告

宇川版

丹後町中学生以上全員 まちづくりアンケート調査結果報告

宇川版 目次

1	はじめに	3
2	アンケート回収状況	4
3	丹後町の現状	5
	宇川の人口減少と少子高齢化 住民基本台帳より（平成30年3月31日現在）	5
	宇川の年代構成（人口ピラミッド） 住民基本台帳より（平成30年3月31日現在）	5
	地区における高齢化率と年少人口率	6
4	アンケート結果	7
(1)	丹後町に住み続けますか？	7
(2)	各世代が思う丹後町に快適に住み続けるにはどうしたらいいのか？	8
(3)	丹後町のいいところ（複数回答）	9
(4)	丹後町で不安に感じていること、困っていること（複数回答）	9
(5)	地域活動について	10
(5)－1	地域活動の重要度	11
(5)－2	地域活動の満足度	11
(5)－3	地域活動の足りない度合い（不足度）	12
(5)－4	最も優先して取り組む活動	14
(6)	生活基盤施設（インフラ）について	15
(6)－1	インフラの重要度	16
(6)－2	インフラの満足度	16
(6)－3	インフラの足りない度合い（不足度）	17
(7)	移動について	18
(8)	活動の頻度について（複数回答）	19
(9)	経済活動について（複数回答）	20
(10)	自治・地域活動について	21
(11)	これから行なってみたい地域活動、協力できる活動	22
(12)	その他・暮らしについて	23

1 はじめに

アンケート調査の全体概要

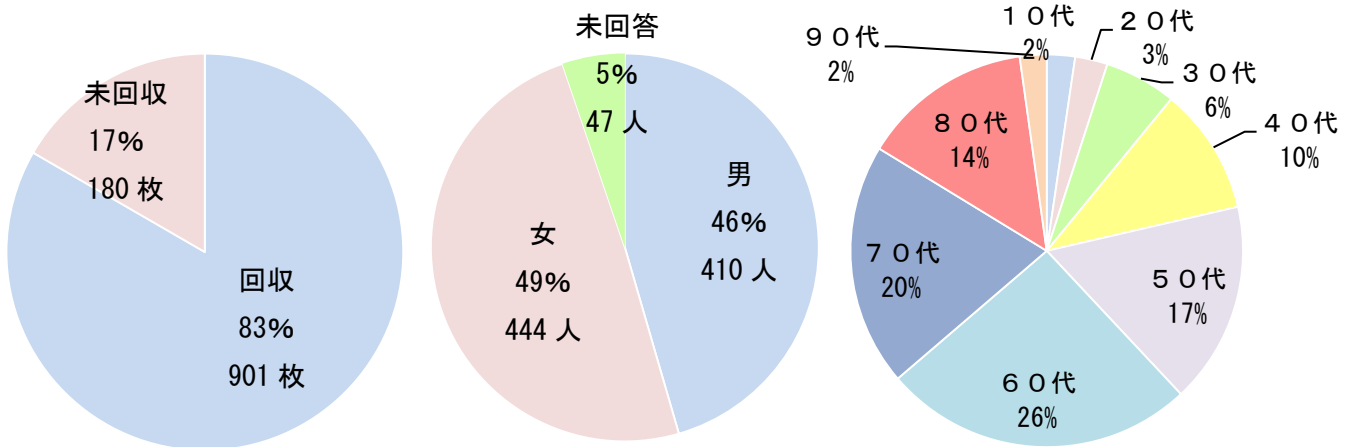
- 1 実施日時 平成 29 年 10 月～11 月（提出締切：平成 29 年 11 月 10 日）
- 2 対 象 丹後町在住の中学生以上の住民
- 3 配布枚数 4,508 枚
- 4 回収枚数 3,145 枚（回収率 69.8%）
- 5 回収方法 各町内の隣組長まで提出（その後、市民局で集約）
- 6 調査方法 無記名、選択制（一部自由記述あり）
- 7 調査内容 別添アンケート調査票を参照
- 8 実施主体 丹後町区長連絡協議会、丹後町まちづくり準備会

宇川地域の調査概要

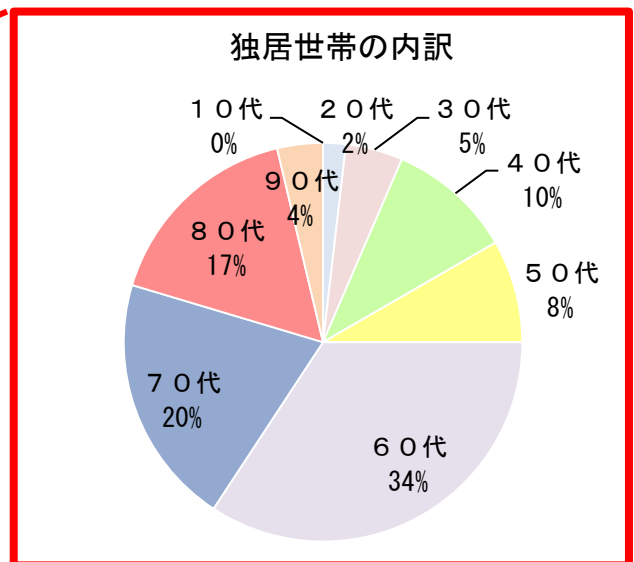
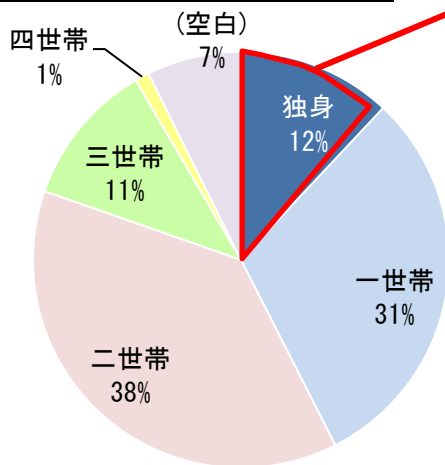
	配布総数	回収数	未回収	回収率
上宇川	333	309	24	92.8%
下宇川	748	592	156	79.1%
合計	1,081	901	180	83.3%

2 アンケート回収状況

回収の状況



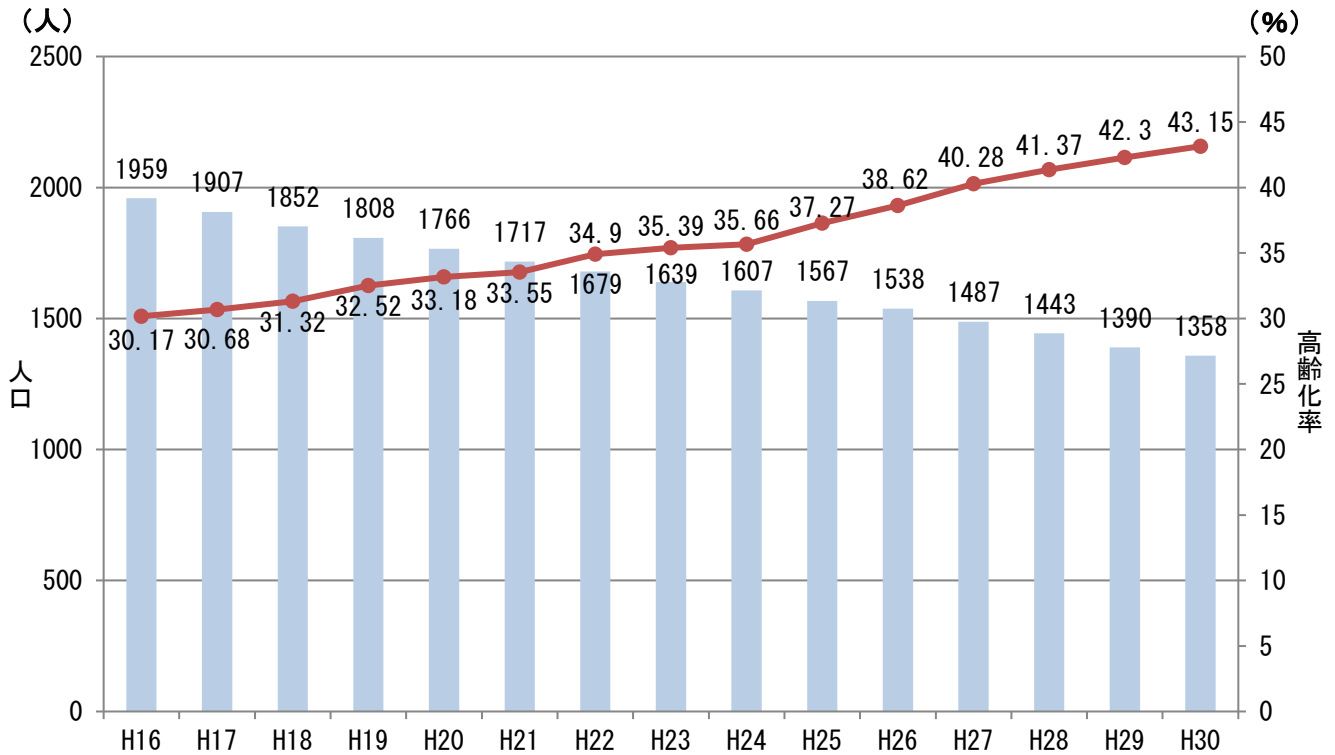
アンケート回答者の世帯構成



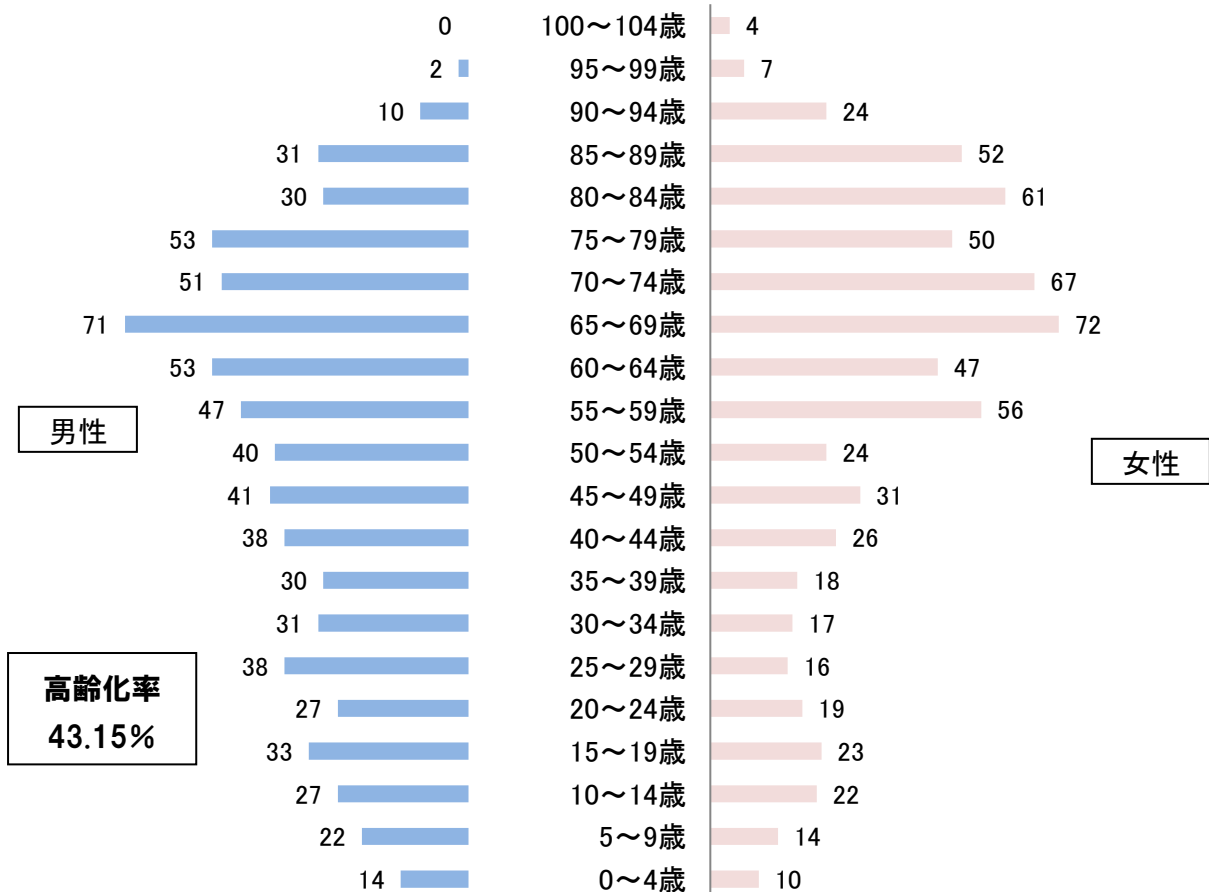
年齢	男	女	(空白)	総計	独身	一世帯	二世帯	三世帯	四世帯	(空白)	総計
10代	10	10	0	20	0	1	13	6	0	0	20
20代	14	9	0	23	2	3	12	5	0	1	23
30代	24	27	0	51	5	1	28	14	2	1	51
40代	53	37	0	90	11	10	54	14	0	1	90
50代	70	73	0	143	9	35	81	15	2	1	143
60代	109	111	1	221	37	93	67	16	3	5	221
70代	79	91	2	172	22	87	36	19	0	8	172
80代	42	72	7	121	18	34	48	10	3	8	121
90代	8	11	0	19	4	11	2	2	0	0	19
(空白)	1	3	37	41	0	0	0	0	0	41	41
総計	410	444	47	901	108	275	341	101	10	66	901

3 丹後町の現状

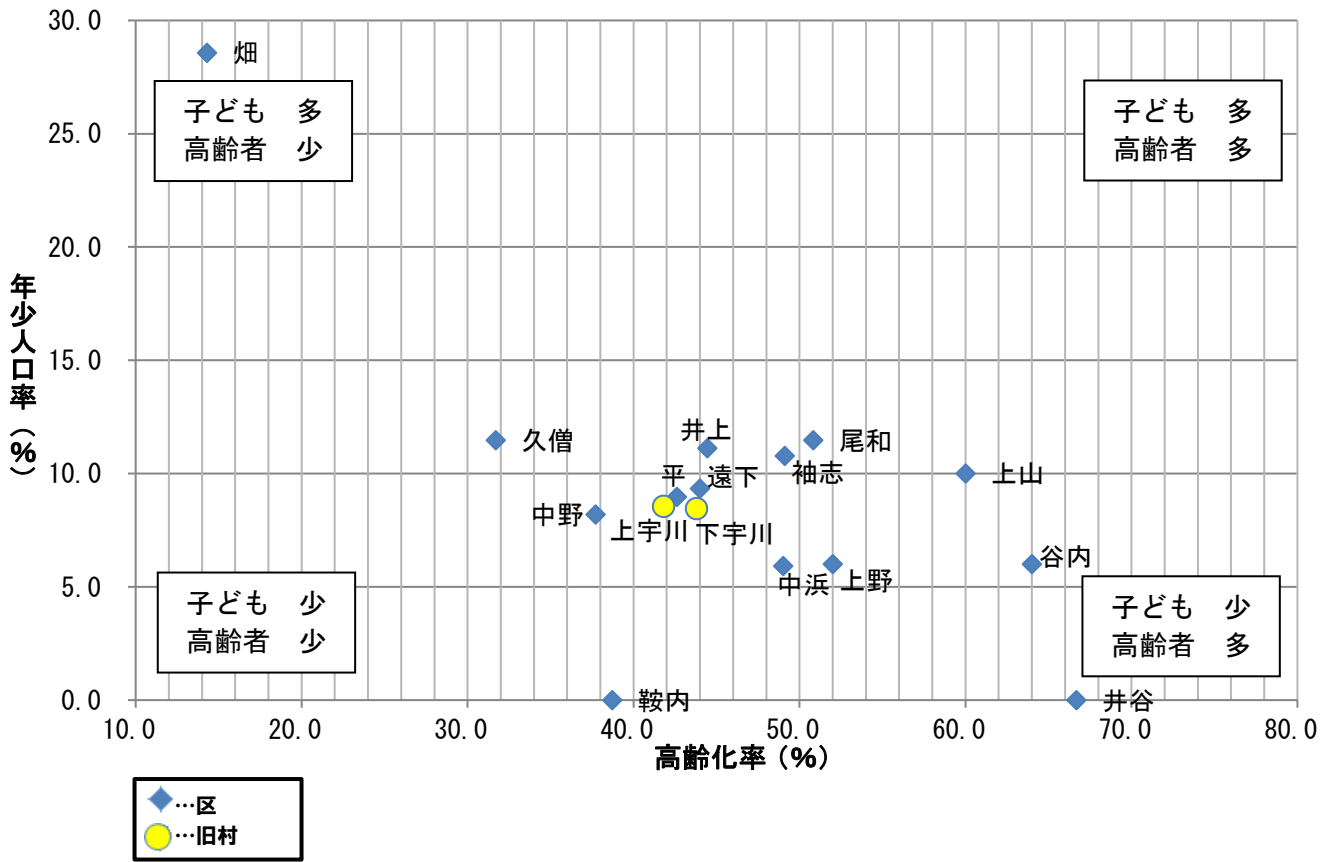
宇川の人口減少と少子高齢化 住民基本台帳より（平成30年3月31日現在）



宇川の年代構成(人口ピラミッド) 住民基本台帳より（平成30年3月31日現在）

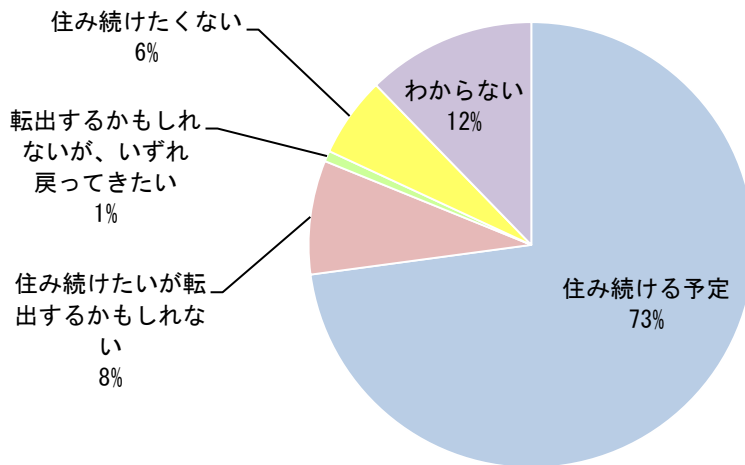


地区等における高齢化率と年少人口率

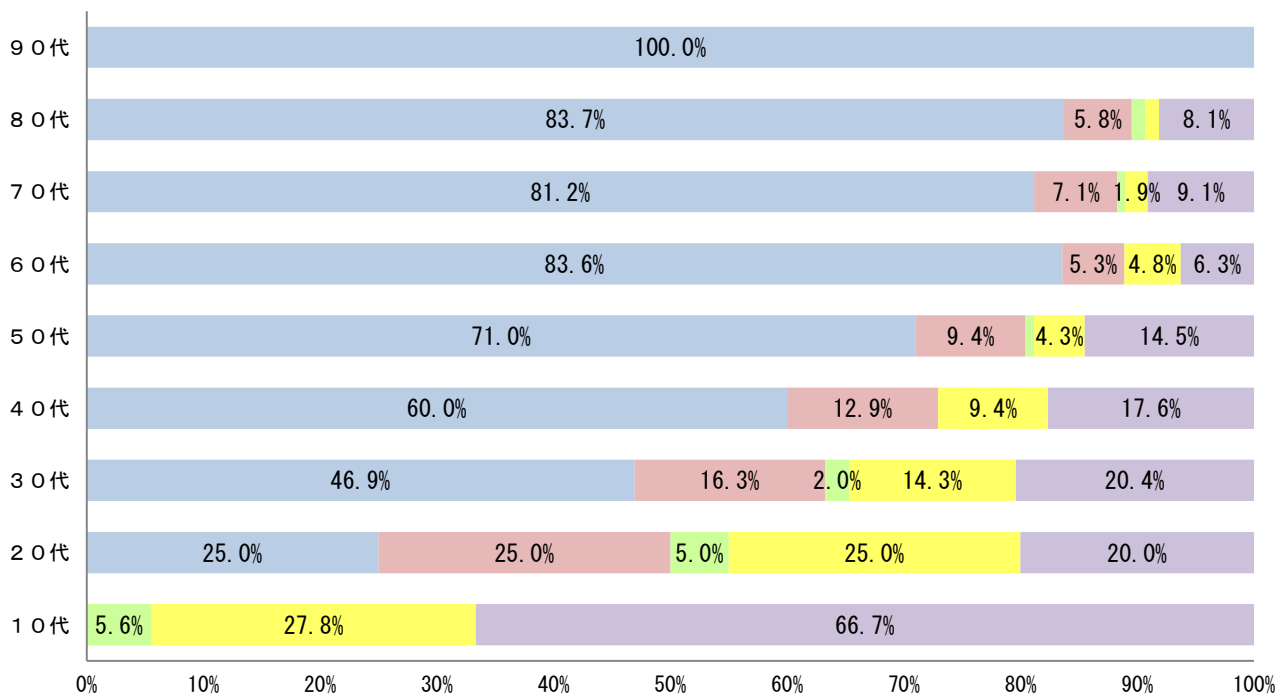


4 アンケート結果

(1) 丹後町に住み続けますか？



回答者の年代別分布



■ 住み続ける予定
 ■ 住み続けたいが転出するかもしれない
 ■ 転出するかもしれないが、いずれ戻ってきたい
 ■ 住み続けたくない
 ■ わからない

(2) 各世代が思う丹後町に快適に住み続けるにはどうしたらいいのか？

丹後町で快適に生活するために必要だと思うことについて、年代別に特に多かった意見をまとめました。

全体の意見

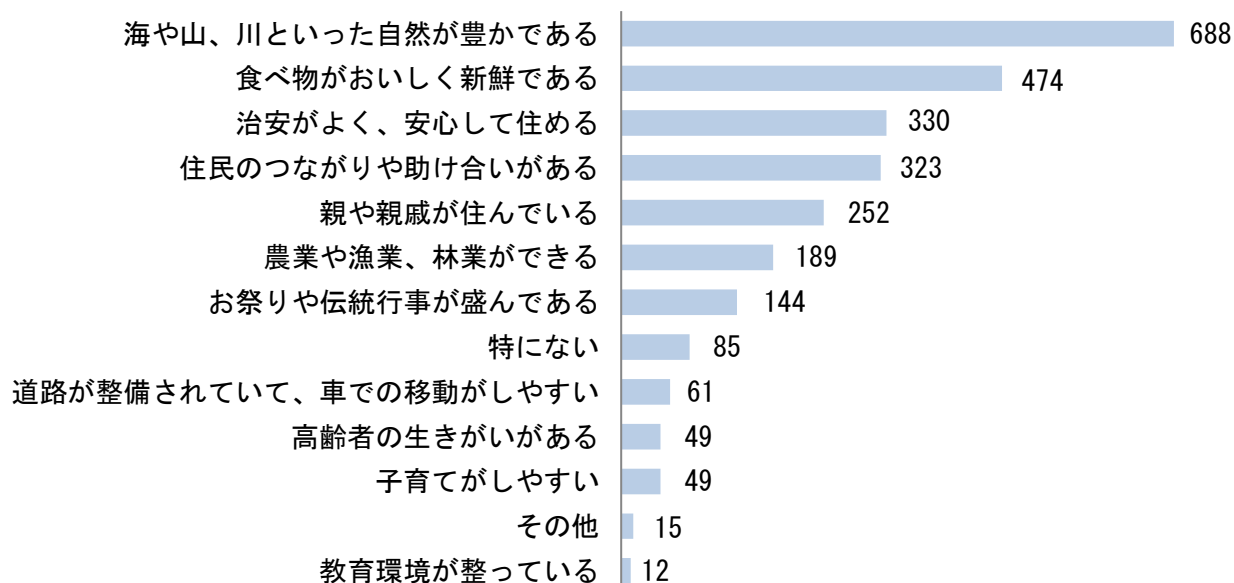
順位	内容
1位	インフラ（道路の拡張、整備）
2位	買い物（買い物の場所の充実、コンビニ、生活用品を買える場所）
3位	交通（交通の利便性、バスの充実）
4位	仕事（若い人が働ける場所）
5位	医療（医療機関の充実、小児科など）

年代別の意見

年代 順位	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
1位	交通	買い物	インフラ	インフラ
2位	買い物	インフラ	買い物	買い物
3位	インフラ	交通	仕事	交通
4位	仕事	仕事	交通	医療
5位	子育て	医療	医療	仕事

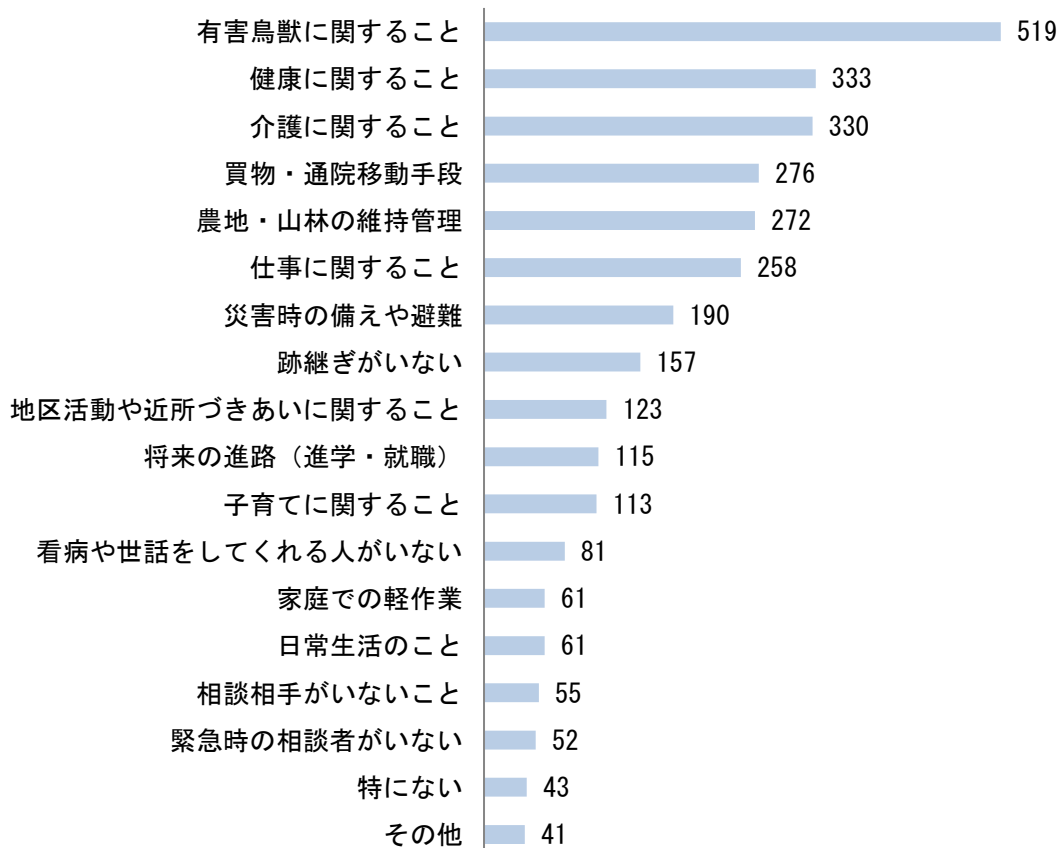
各年代を通して多かった意見はインフラや買い物で、インフラについては道路整備に関する意見が多くありました。また、買い物では、コンビニやホームセンター等がほしいという意見が多くありました。

(3) 丹後町のいいところ（複数回答）



豊かな自然と、自然が育む新鮮な食材が魅力だと思っている人が多いことがわかります。地域のつながりや安心して住める環境も魅力であると感じている人が多いです。

(4) 丹後町で不安に感じていること、困っていること（複数回答）



(5) 地域活動について

地域づくりには多様な地域活動が欠かせません。そこで、以下ア～チの17の地域の活動について、重要度や満足度について、調査を行いました。

調査項目（全17項目）

- ア 草刈り・海岸清掃・河川清掃・植栽活動などの地域内の美化・環境保全活動
- イ 防災・避難訓練・避難所運営訓練など、消防や防災の活動
- ウ 防犯や交通安全に関する活動(登下校の見守り隊を含む)
- エ 秋祭り、市民運動会など、地区住民が集うイベント開催
- オ 地区の伝統文化の継承（三番叟・神楽・太刀振り等など）
- カ 買物・通院・通学など、移動支援活動
- キ 高齢者の見守り、サロン、弁当宅配など、高齢者の生活支援活動
- ク 敬老会など、高齢者対象の行事・イベント開催
- ケ 子ども会など、子ども対象の行事・イベント開催
- コ 乳幼児や学童に対する子育て支援活動
- サ サークル、教室、スポーツなど、生涯学習や健康づくり活動
- シ 農地・山林の荒廃防止、耕作放棄地解消などの活動
- ス 特産品の開発や、販売する活動
- セ 地区外の人を呼び込むための観光や体験などの交流活動
- ソ 空き家紹介や地区案内など、移住希望者の受入活動
- タ 広報誌などによる地域住民向けの広報や情報の共有
- チ インターネットなどを活用した広報や情報発信

数値化の方法

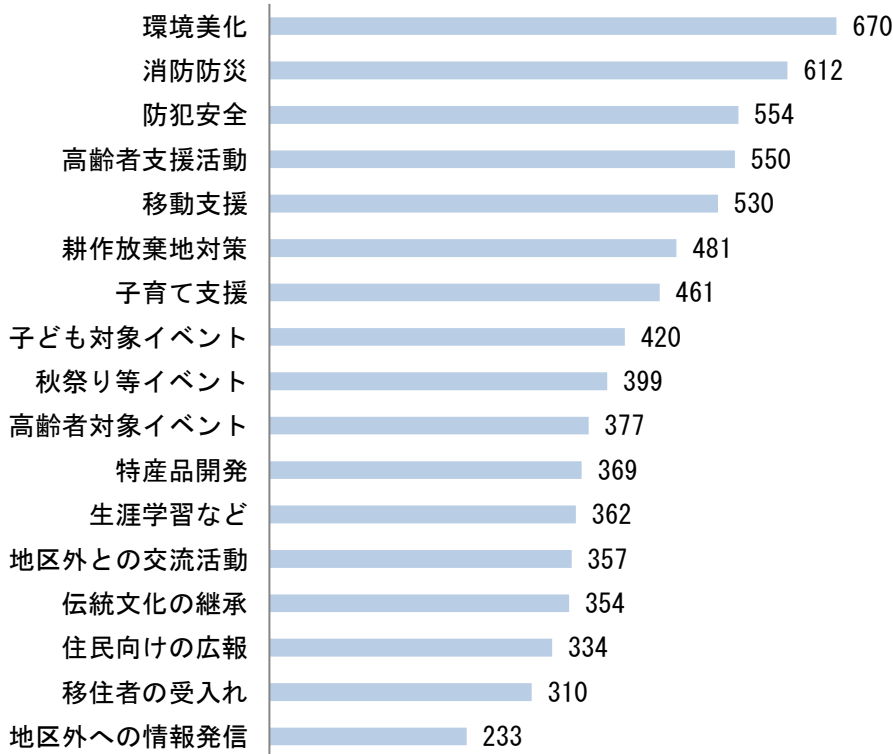
アンケートでは各地域活動について、重要度については「重要である、やや重要である、どちらともいえない、あまり重要でない、重要でない」、満足度については「満足・充分活動している、やや満足している、どちらともいえない、やや不満である、不満である・活動が足りない」と、それぞれ5段階で回答していただきました。

この結果報告では、以下のように数値化した上で、分析しました。

重要度	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
点数	1点	1点	0点	-1点	-1点

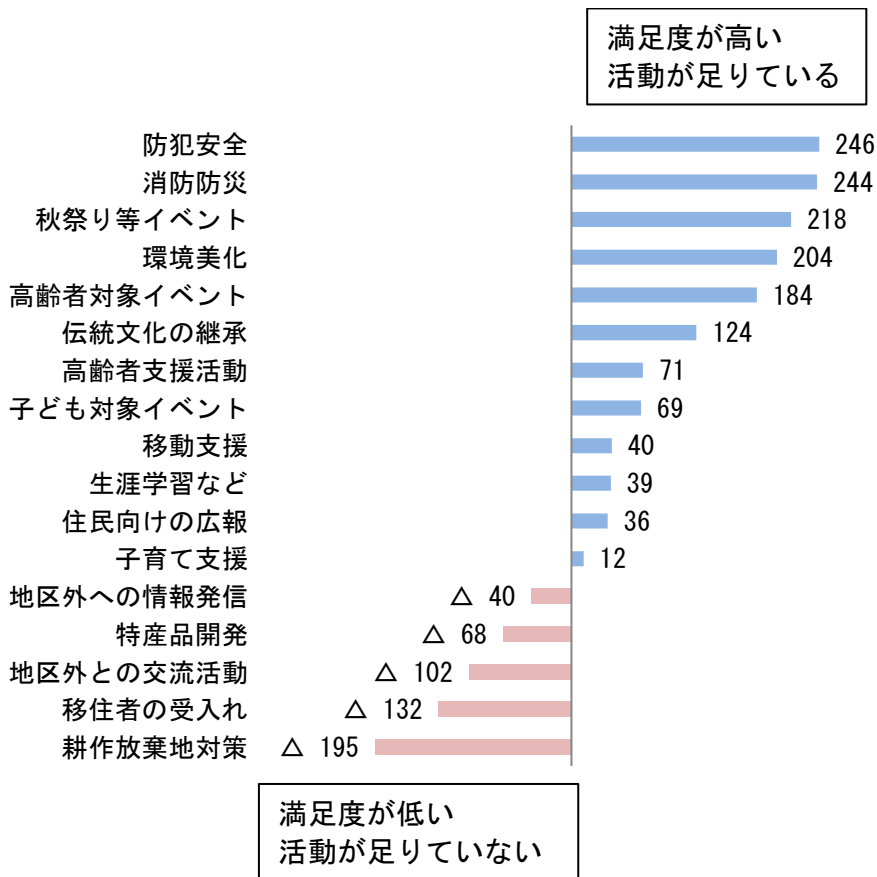
満足度	満足・充分活動している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である・活動が足りない
点数	1点	1点	0点	-1点	-1点

(5)ー1 地域活動の重要度



重要度が高い項目は、「環境美化」「消防防災」「防犯安全」「高齢者支援活動」「移動支援」など、日常生活に密着した項目になりました。

(5)ー2 地域活動の満足度



満足度が高い
活動が足りている

満足度が低い
活動が足りていない

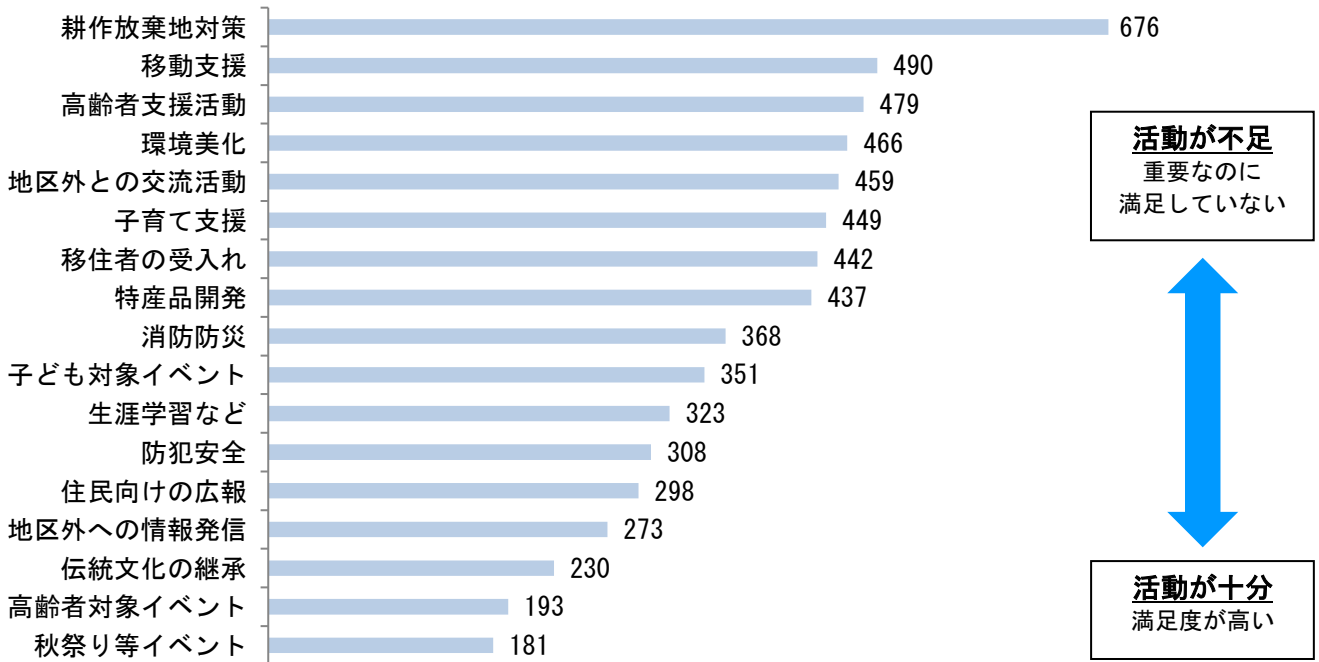
「防犯安全」「消防防災」「秋祭り等イベント」「環境美化」など地域全体で取り組んでいる活動に満足されている方が多いことがわかりました。

一方で、「耕作放棄地対策」「移住者の受け入れ」「地区外との交流」「特産品開発」などの満足度は低いことがわかりました。

(5)ー3 地域活動の足りない度合い(不足度)

「重要度」から「満足度」を差し引きすると、地域活動が十分に活動されているかを表す「不足度」を導くことができます。重要だと思っているが十分ではない活動や、逆に重要とされていて活動も十分だと感じている活動など、各活動に対する回答者の思いを知ることができます。

地域活動の不足度（全体）

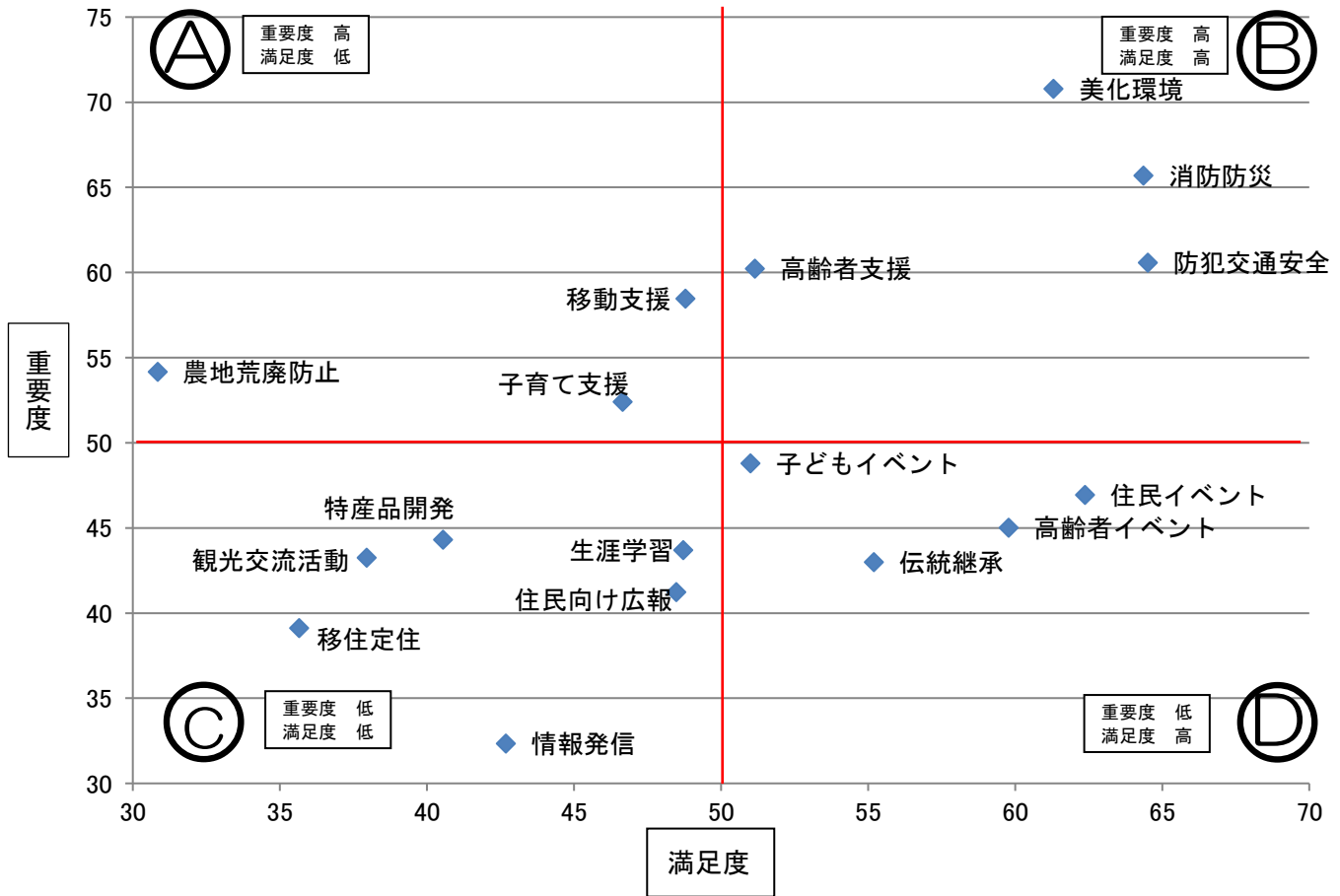


地域活動の不足度（年代別ランキング）

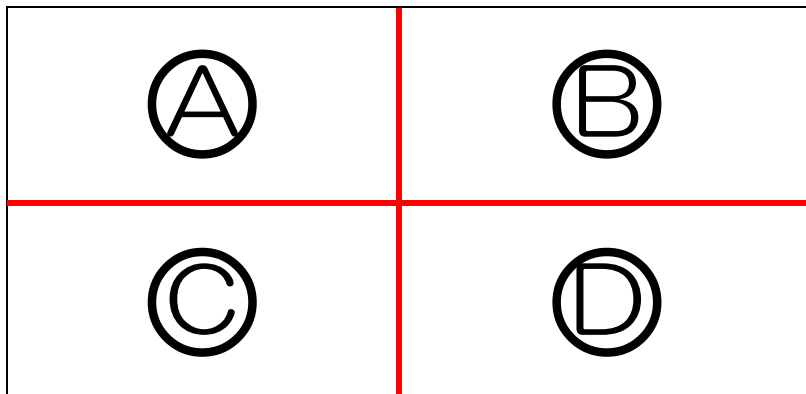
年代別に表すと各世代で共通して認識している課題、世代ごとに感じている課題などがわかります。

年代 順位	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
1位	移動支援	農地荒廃防止	農地荒廃防止	農地荒廃防止
2位	高齢者支援	高齢者支援	高齢者支援	子育て支援
3位	観光交流活動	子育て支援	移動支援	美化環境
4位	移住定住	移動支援	子育て支援	観光交流活動
5位	子育て支援	観光交流活動	特産品開発	移住定住
6位	美化環境	移住定住	美化環境	子どもイベント
7位	農地荒廃防止	子どもイベント	移住定住	高齢者支援
8位	消防防災	美化環境	観光交流活動	特産品開発
9位	伝統継承	特産品開発	子どもイベント	消防防災
10位	特産品開発	防犯交通安全	消防防災	移動支援
11位	住民向け広報	情報発信	防犯交通安全	生涯学習
12位	住民イベント	生涯学習	生涯学習	住民向け広報
13位	生涯学習	消防防災	情報発信	防犯交通安全
14位	高齢者イベント	高齢者イベント	高齢者イベント	住民イベント
15位	子どもイベント	住民向け広報	伝統継承	情報発信
16位	防犯交通安全	伝統継承	住民向け広報	伝統継承
17位	情報発信	住民イベント	住民イベント	高齢者イベント

地域活動の重要度・満足度の偏差値分布



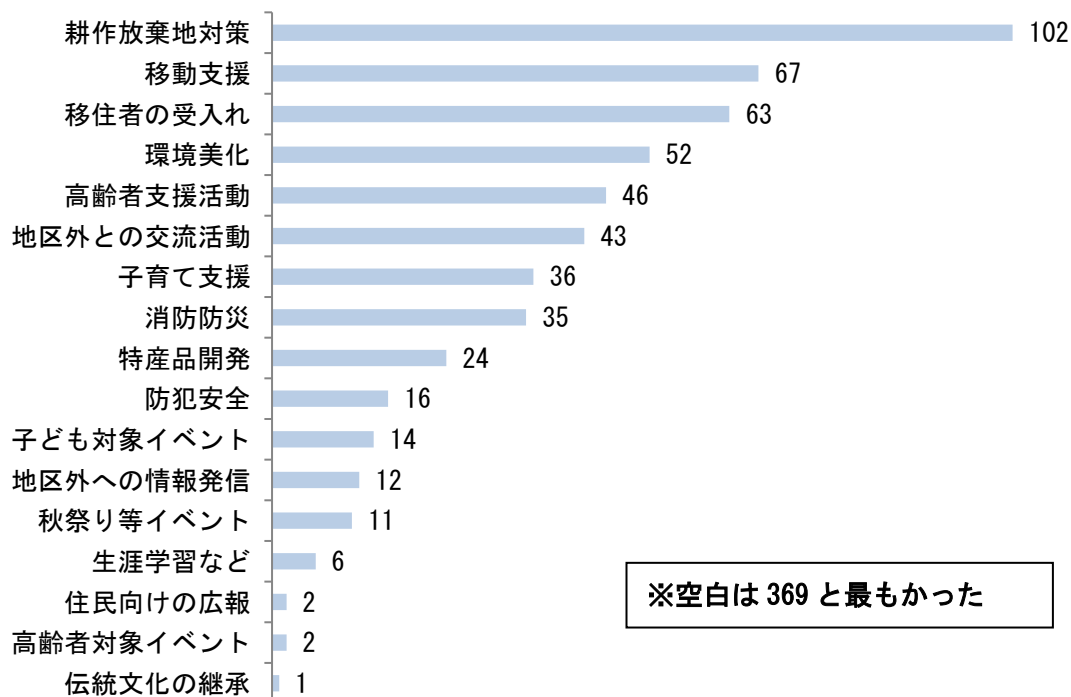
※偏差値分布表の見方



- A …重要度は高いが、活動は不十分である。
- B …重要度は高く、十分な活動が行われている。
- C …重要度は低く、活動は不十分である。
- D …重要度は低いが、十分な活動が行われている。

(5)ー4 最も優先して取り組む活動

最も優先して取り組む活動（全体）



※アンケートでは、最も優先して取り組む活動の課題に解決するためにどのように取り組むべきか自由記述形式で回答していただきました。この回答については、「自由記述編」の「6 最も優先して取り組むべき課題の課題解決について（P29～P53）」に掲載しています。

最も優先して取り組む活動（年代別ランキング）

年代 順位	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
1位	移住定住	移住定住	農地荒廃防止	農地荒廃防止
2位	移動支援	移動支援	移動支援	移住定住
3位	地区外との交流活動	子育て支援	美化環境	高齢者支援
4位	子どもイベント	美化環境 消防防災	移住定住	移動支援
5位	移住定住		高齢者支援	美化環境
6位	農地荒廃防止	農地荒廃防止 防犯交通安全	子育て支援	地区外との交流活動
7位			地区外との交流活動	消防防災

(6) 生活基盤施設(インフラ)について

地域生活の基盤となる以下ツ～マの14の施設（以下、インフラといいます。）について、重要度や満足度の調査を行いました。

調査項目（全14項目）

- ツ 水道
- テ 下水・浄化槽
- ト 道路整備
- ナ 河川整備
- ニ 農地整備・鳥獣害対策
- ヌ 集会所等公共の場の整備・改築
- ネ 学校など教育施設の整備・拡充
- ノ 観光施設のトイレなどの整備
- ハ インターネット環境の整備
- ヒ 携帯電話基地局整備
- フ 200円丹海バス・市営デマンドバスの継続
- ヘ 介護施設の整備
- ホ 賃貸（アパートなど）住宅の整備
- マ 新設住宅の敷地の整備

数値化の方法

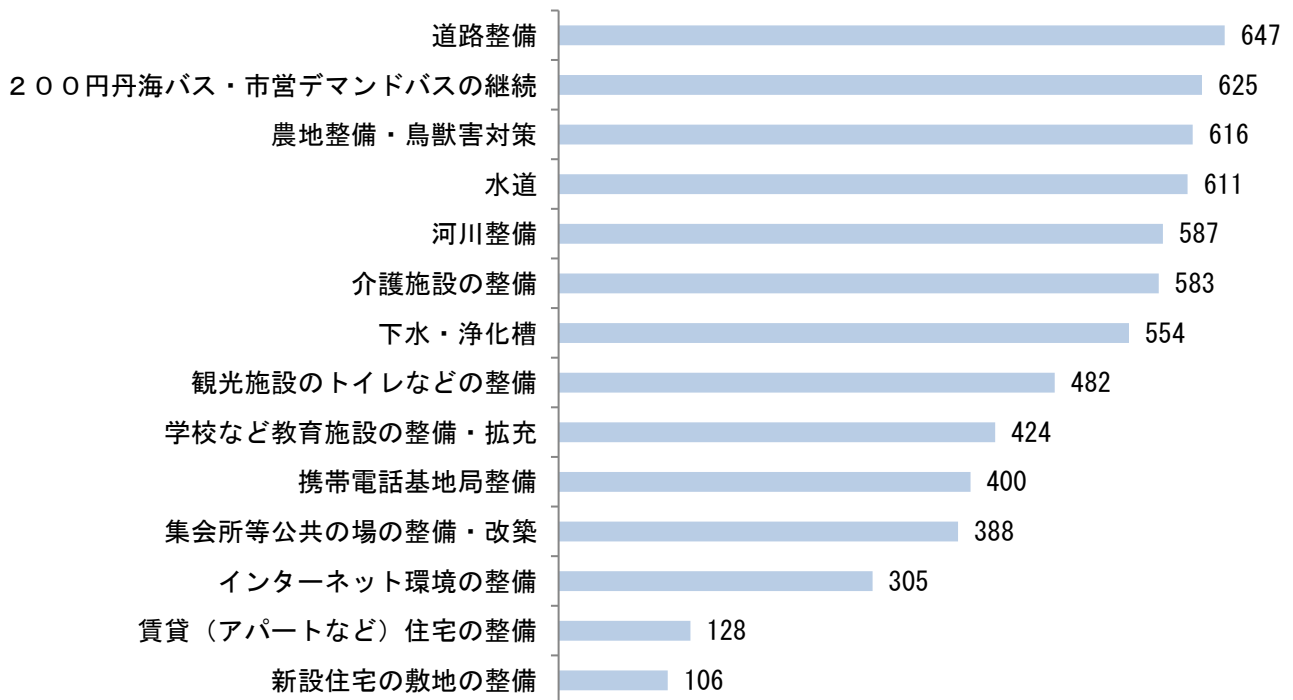
アンケートでは各施設について、重要度については「重要である、やや重要である、どちらともいえない、あまり重要でない、重要でない」、満足度については「満足・充分活動している、やや満足している、どちらともいえない、やや不満である、不満である・活動が足りない」と、それぞれ5段階で回答していただきました。

数値化と分析にあたっては、「11 ページ」の「地域活動」と同じ方法で行いました。

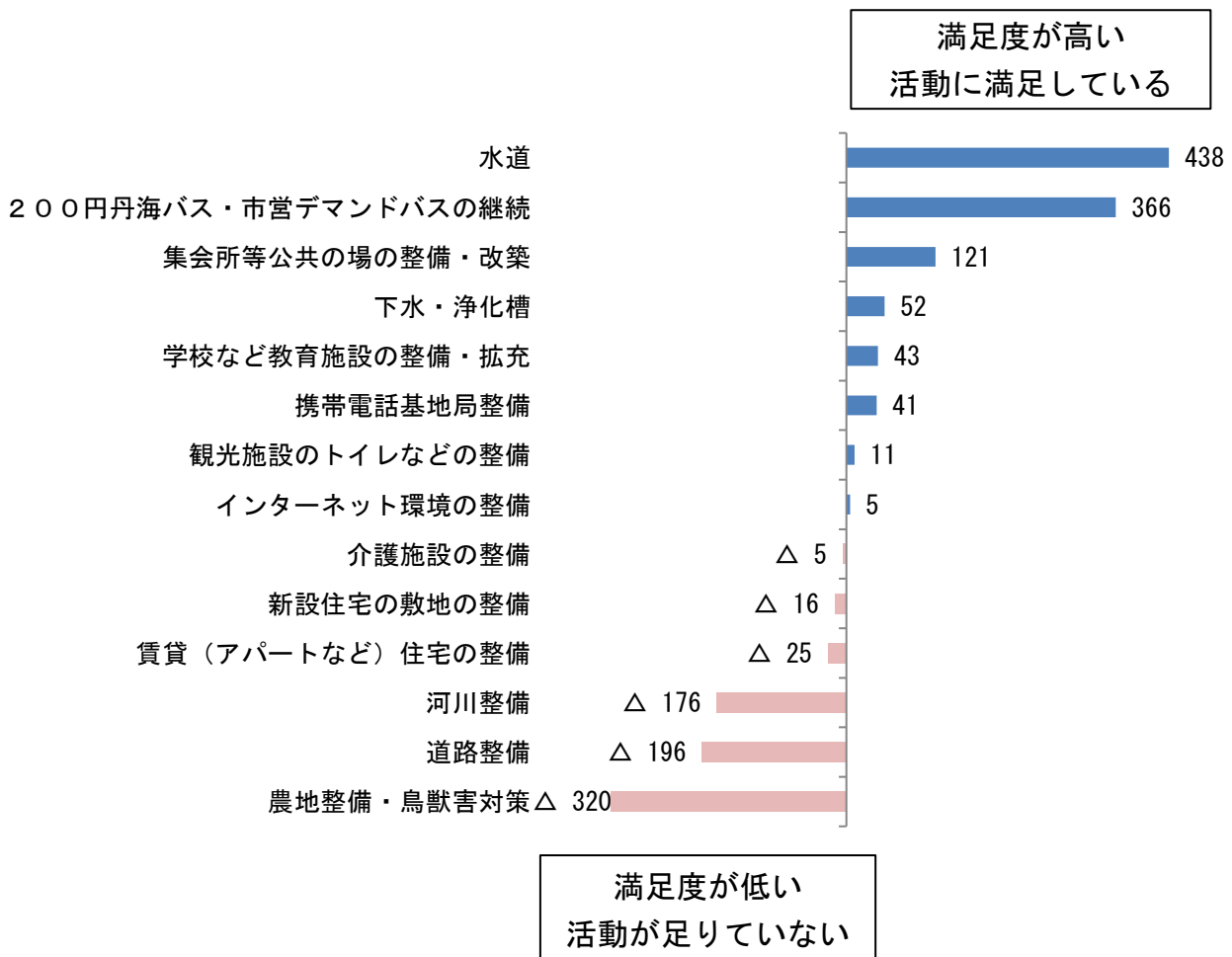
重要度	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要でない	重要でない
点数	1点	1点	0点	-1点	-1点

満足度	満足・充分活動している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である・活動が足りない
点数	1点	1点	0点	-1点	-1点

(6)ー1 インフラの重要度



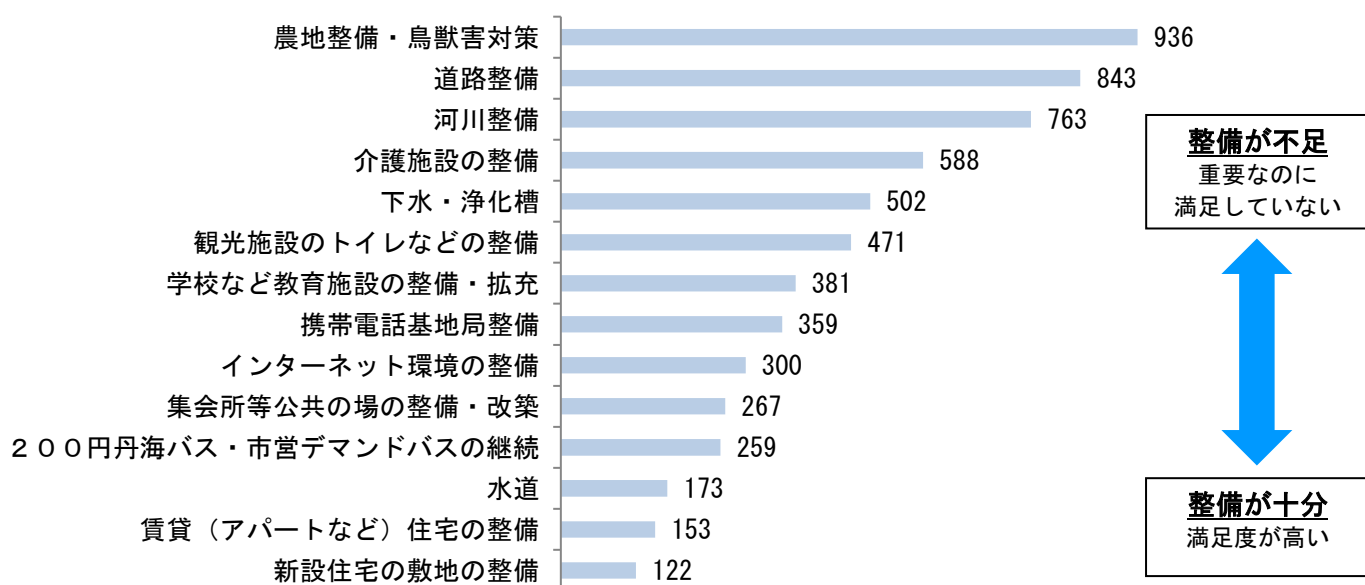
(6)ー2 インフラの満足度



(6)ー3 インフラの足りない度合(不足度)

インフラについても「重要度」から「満足度」を差し引き、十分に整備されているかを表す「不足度」を算出しました。この方法については、「13ページ」の「5-3 地域活動の足りない度合い(不足度)」と同じ方法で行っています。

インフラの不足度(全体)

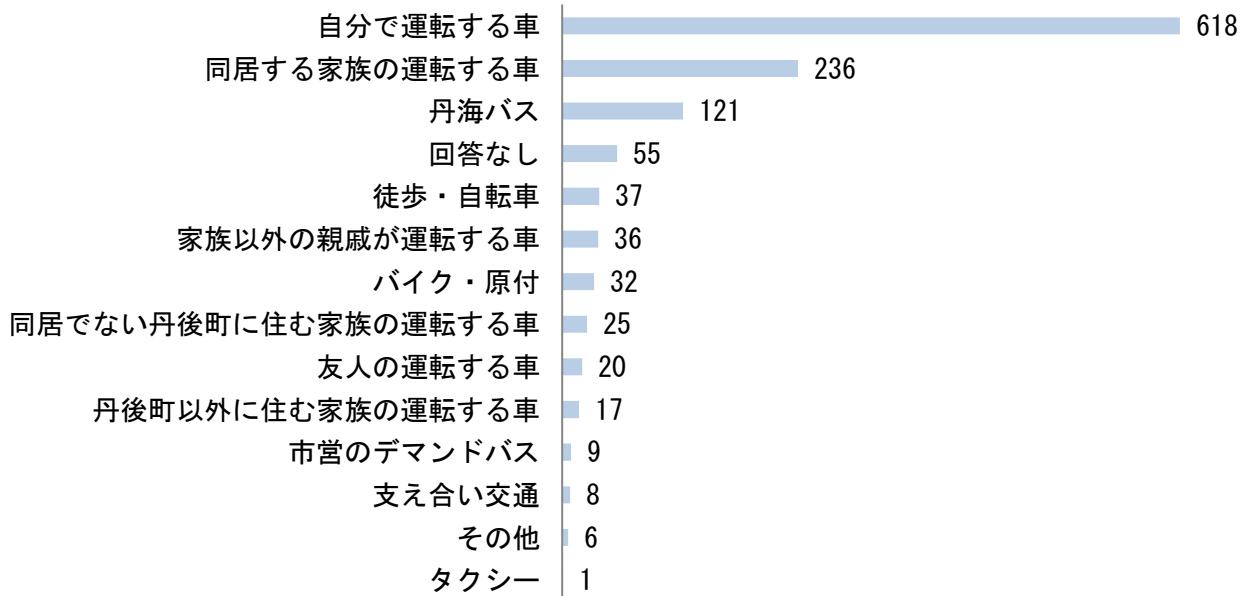


インフラの不足度(年代別ランキング)

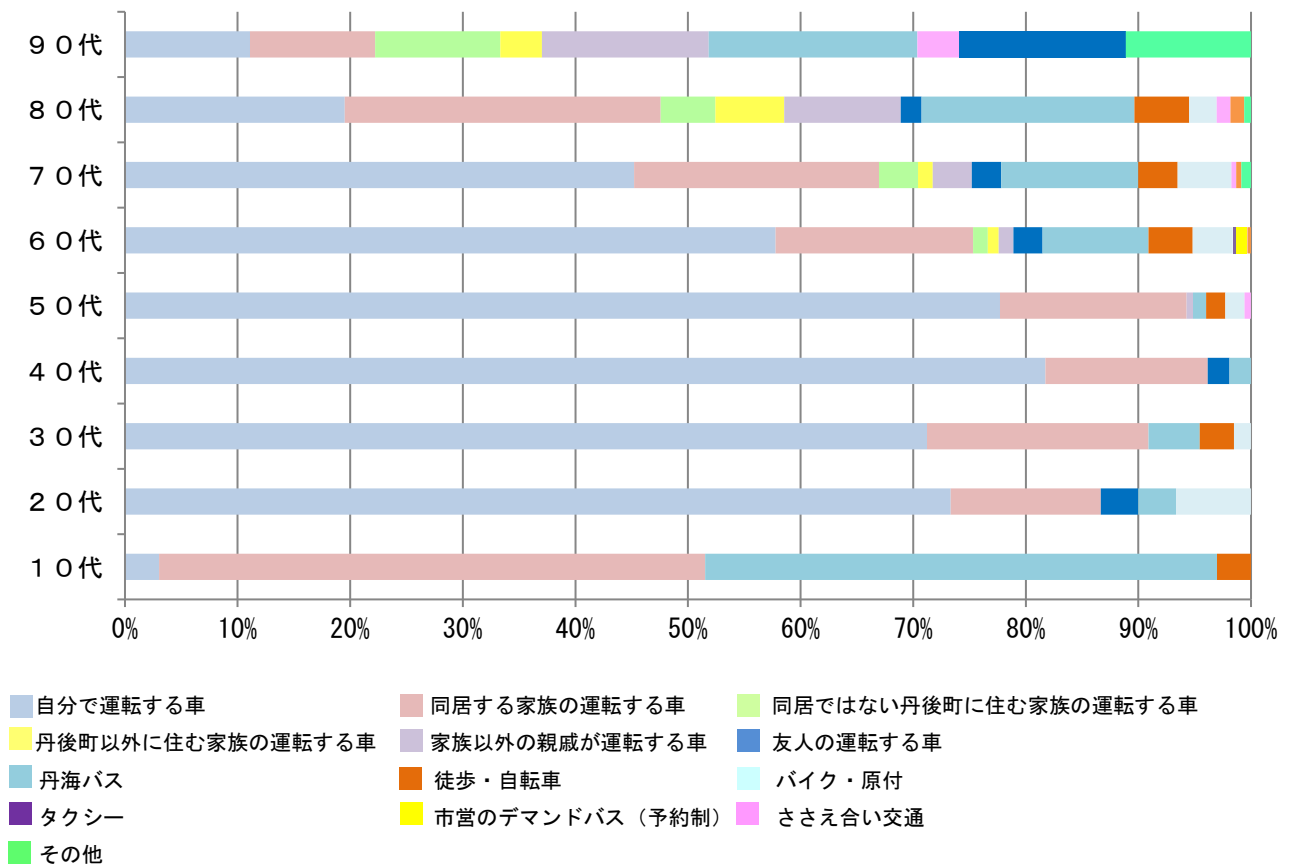
年代 順位	10代~20代	30代~40代	50代~60代	70代以上
1位	道路整備	道路整備	農地整備・鳥獣害対策	農地整備・鳥獣害対策
2位	観光施設のトイレなどの整備	農地整備・鳥獣害対策	道路整備	河川整備
3位	携帯電話基地局整備	河川整備	河川整備	道路整備
4位	インターネット環境の整備	下水・浄化槽	介護施設の整備	介護施設の整備
5位	農地整備・鳥獣害対策	介護施設の整備	下水・浄化槽	観光施設のトイレなどの整備
6位	学校など教育施設の整備・拡充	インターネット環境の整備	観光施設のトイレなどの整備	下水・浄化槽
7位	介護施設の整備	携帯電話基地局整備	学校など教育施設の整備・拡充	学校など教育施設の整備・拡充
8位	河川整備	学校など教育施設の整備・拡充	携帯電話基地局整備	200円丹海バス・市営デマンドバスの継続
9位	新設住宅の敷地の整備	観光施設のトイレなどの整備	集会所等公共の場の整備・改築	集会所等公共の場の整備・改築
10位	下水・浄化槽	賃貸(アパートなど)住宅の整備	200円丹海バス・市営デマンドバスの継続	携帯電話基地局整備

(7) 移動について

仕事や通学、買い物等の日常的な移動手段は？

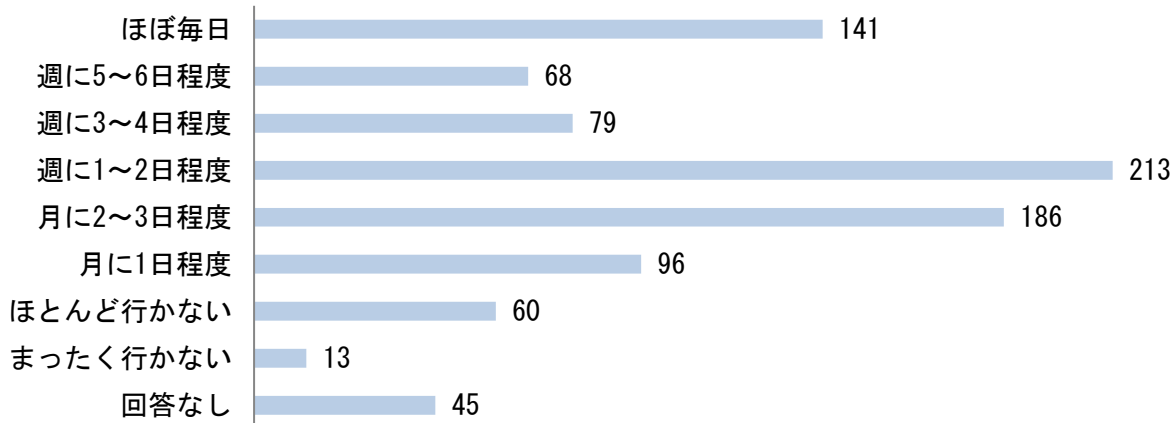


仕事や通学、買い物等の日常的な移動手段（年代別）

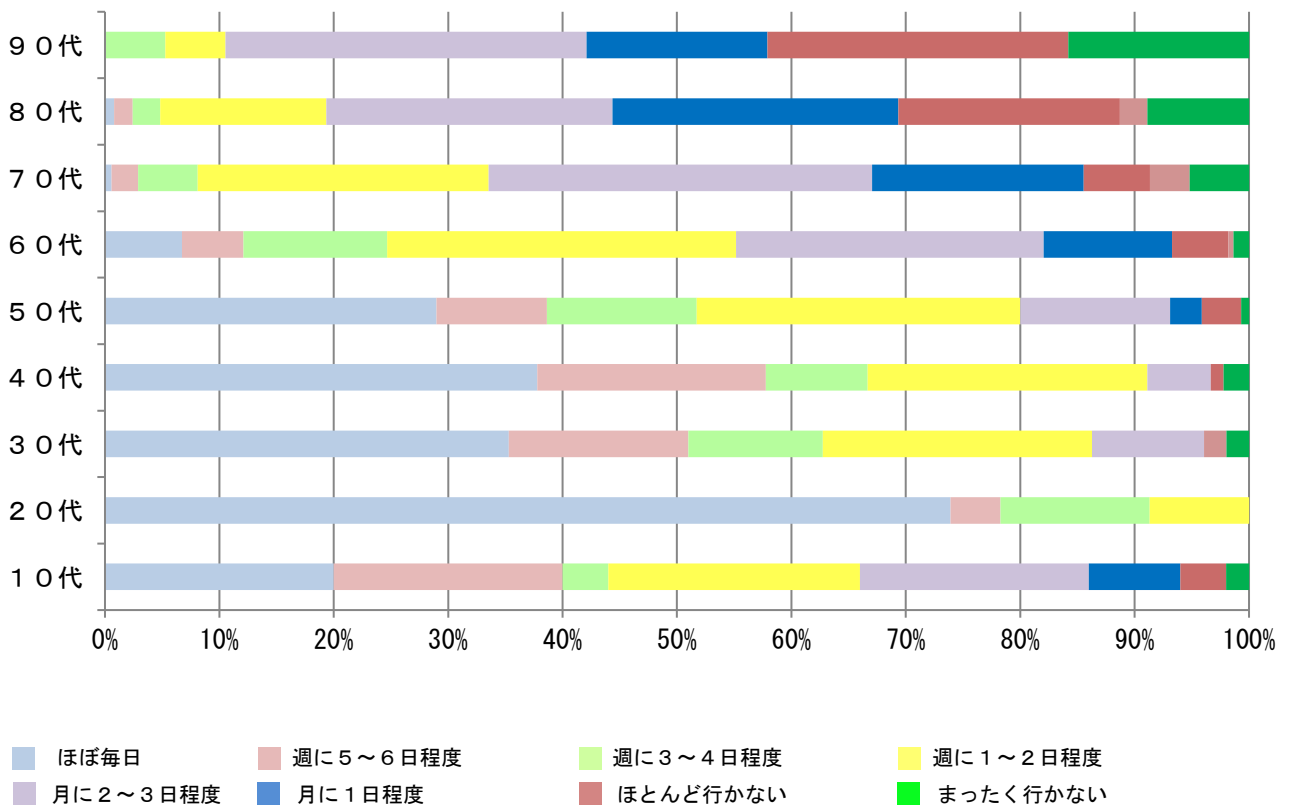


(8) 活動の頻度について（複数回答）

仕事や通学、買い物等でどの程度、丹後町以外の地区に行きますか？

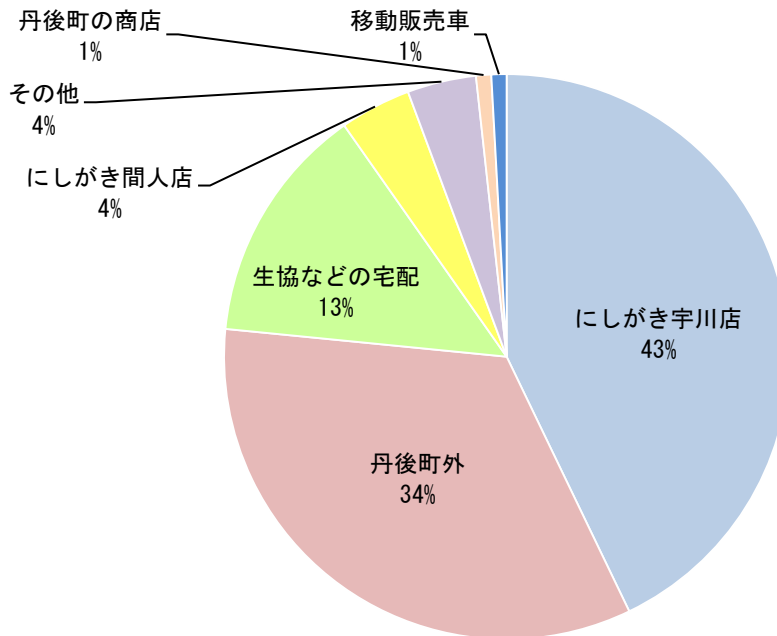


丹後町以外の地区に行く頻度（年代別）

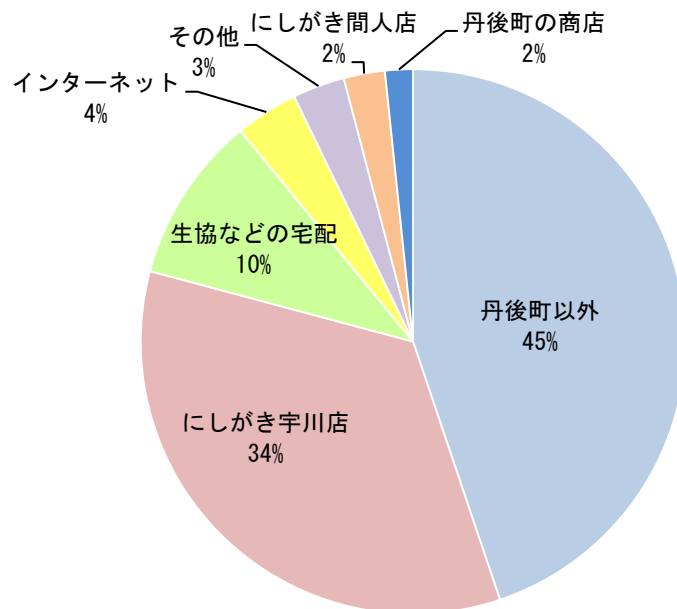


(9) 経済活動について（複数回答）

いつも食料品の買い物をする場所は？



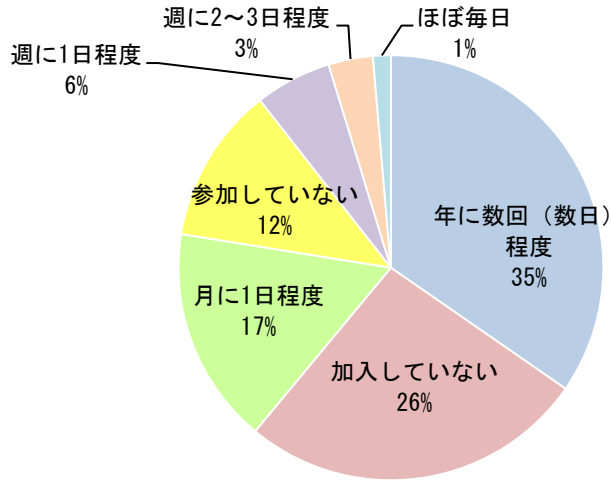
いつも日用品の買い物をする場所は？



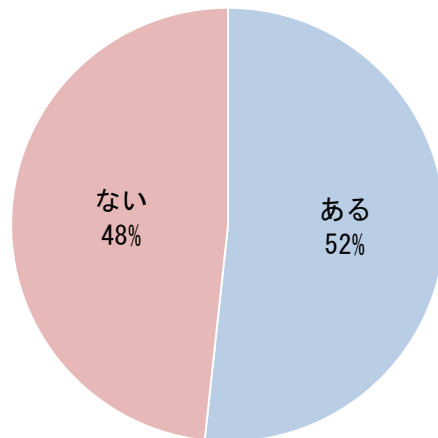
アンケートの結果から、食料品はにしがき宇川店、日用品は丹後町外で買い物をされる方が多いことがわかります。食料品について地域別にみると、上宇川 38%、下宇川 46%と下宇川の方が高く、年代別にみると特に 70 代以上の方の 50%以上の方がにしがき宇川店を利用すると回答しています。

(10) 自治・地域活動について

地域住民組織や団体への参加について

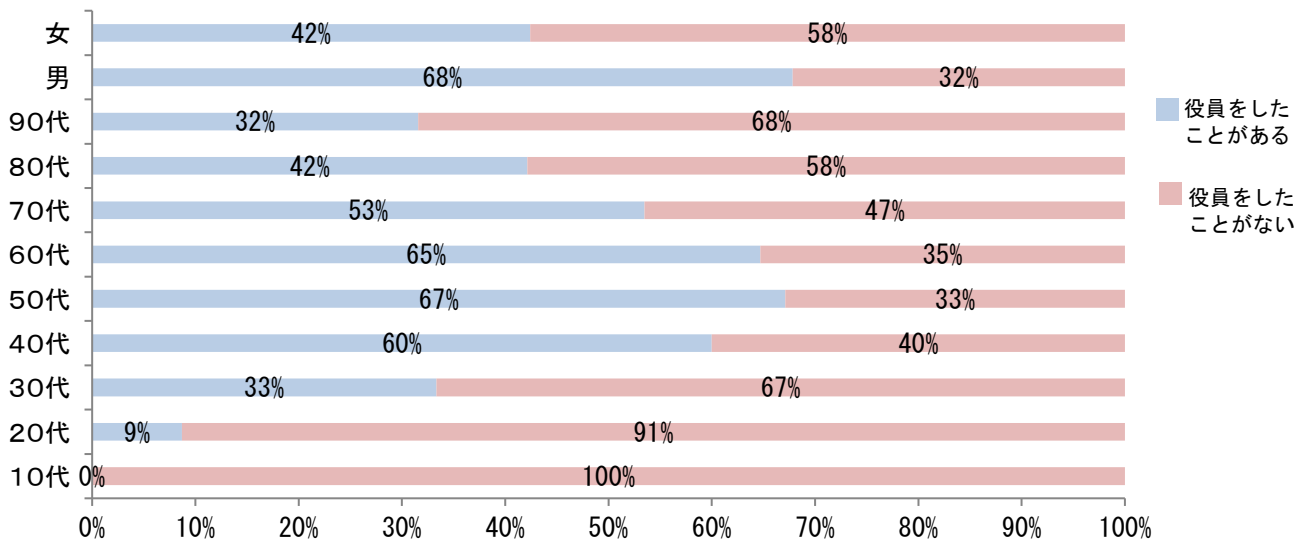


地域住民組織や団体の役員をしたことがありますか？



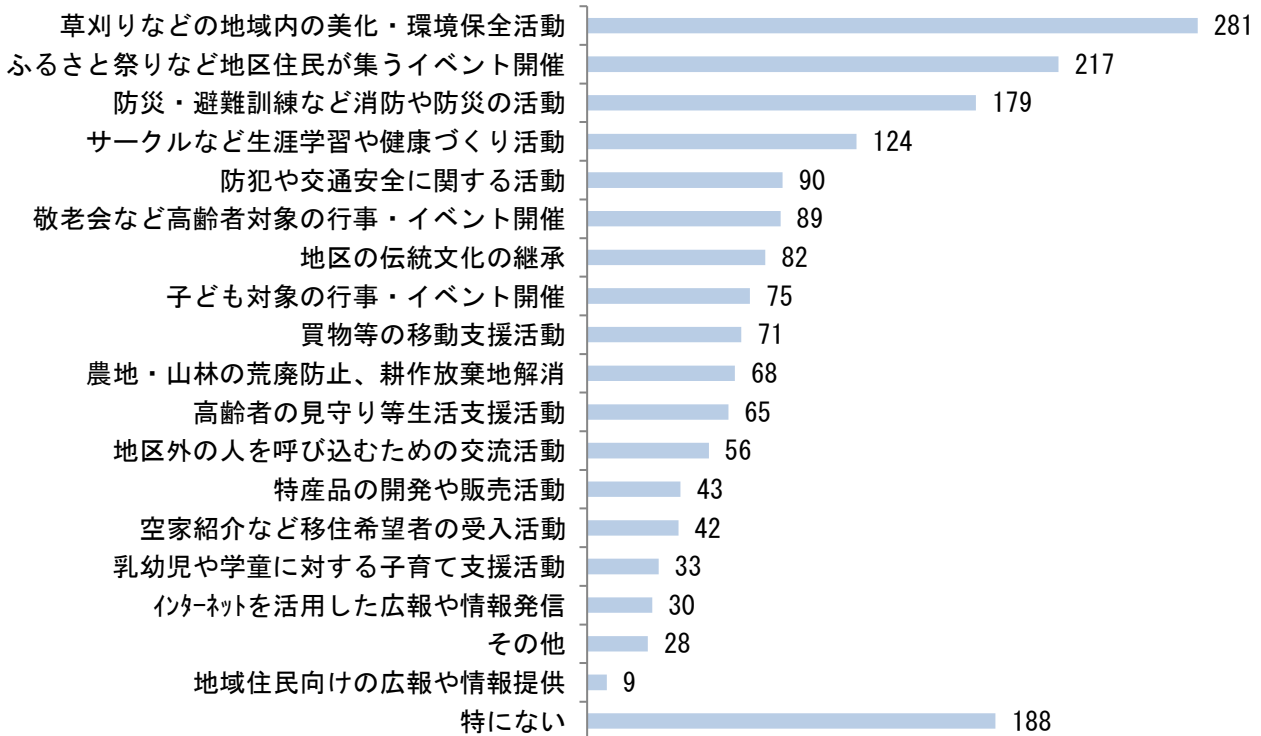
半数の方が、なんらかの団体の役員をしたことがわかりました。
また、あると答えた方の内訳をみると、男性が68%、女性が42%となり、男性の方が高い割合となりました。

回答者の男女別・年代別分布



(11) これから行なってみたい地域活動、協力できる活動

これから行なってみたい地域活動、協力できる活動（全体）

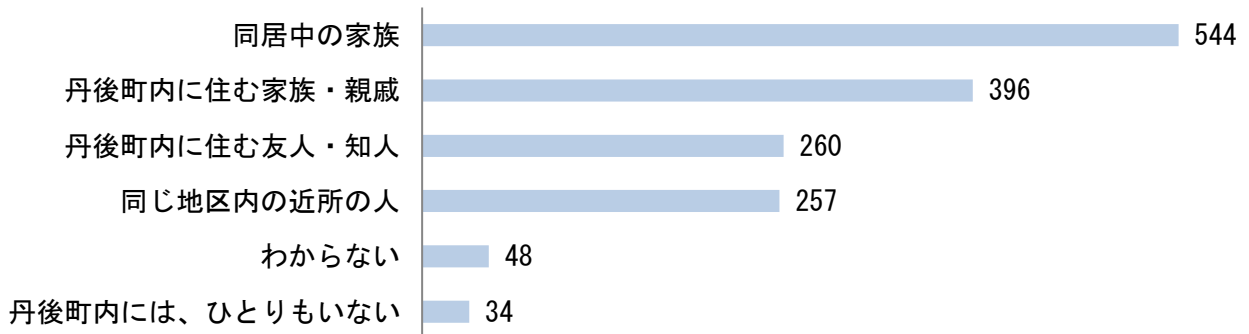


これから行なってみたい地域活動、協力できる活動（年代別ランキング）

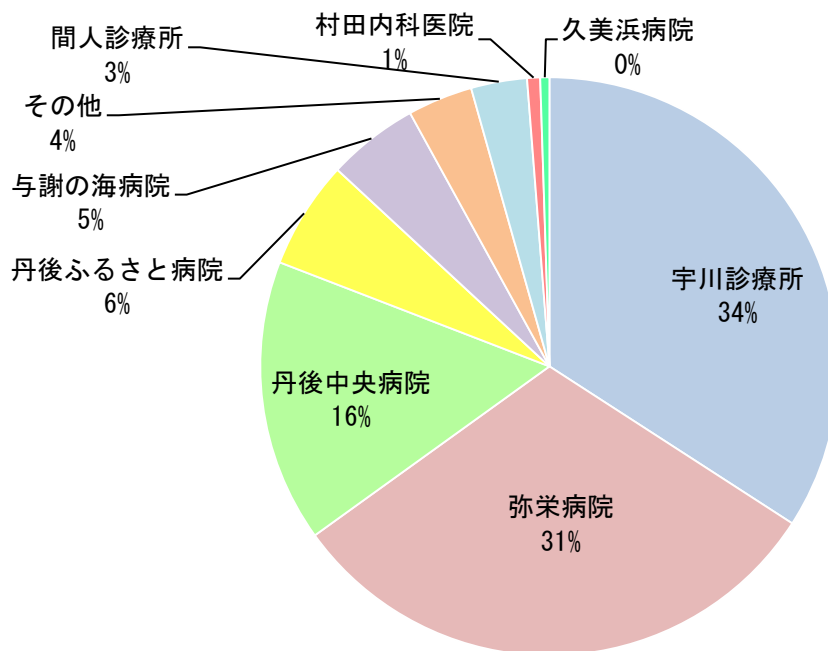
年代 順位	10代～20代	30代～40代	50代～60代	70代以上
1位	ふるさと祭りなど地区住民が集うイベント開催	草刈りなどの地域内の美化・環境保全活動	草刈りなどの地域内の美化・環境保全活動	特にない
2位	防災・避難訓練など消防や防災の活動	ふるさと祭りなど地区住民が集うイベント開催	ふるさと祭りなど地区住民が集うイベント開催	草刈りなどの地域内の美化・環境保全活動
3位	草刈りなどの地域内の美化・環境保全活動	防災・避難訓練など消防や防災の活動	防災・避難訓練など消防や防災の活動	ふるさと祭りなど地区住民が集うイベント開催
4位	防災・避難訓練など消防や防災の活動	子ども対象の行事・イベント開催	特にない	防災・避難訓練など消防や防災の活動
5位	地区の伝統文化の継承	特にない	サークルなど生涯学習や健康づくり活動	敬老会など高齢者対象の行事・イベント開催
6位	子ども対象の行事・イベント開催	防犯や交通安全に関する活動	防犯や交通安全に関する活動	サークルなど生涯学習や健康づくり活動
7位	特にない	地区の伝統文化の継承	買物等の移動支援活動	地区の伝統文化の継承

(12) その他・暮らしについて

いざという時に助け合える人や相談できる人はいますか？



体調が悪くなったり病気になったとき、もっともよく行く医療機関は？



多くの人が助け合える人や相談できる人が町内にいると回答した一方で、丹後町にはひとりもないという方もおられました。

医療機関では、宇川診療所が34%と最も多く、ついで弥栄病院の31%、丹後中央病院16%となりました。

平成30年8月

丹後町区長連絡協議会
丹後町まちづくり準備会